

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：丘の上保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：大平明美	定員（利用人数）： 50 名	
所在地： 神奈川県横浜市戸塚区汲沢1-27-6		
TEL：045-865-2415	ホームページ： https://momo.ed.jp/okanoue1.php	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2016年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 ももの会		
職員数	常勤職員： 7名 非常勤職員：24名	
専門職員	保育士：21名 調理員：3名	栄養士：2名
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室：4室	調理室・面談室・ホール・トイレ 応接室兼休憩室・事務室兼保健室 など

③理念・基本方針

保育理念 (1) 子どもの育とうとする力を信じ、環境を通じて保育を行います。 (2) 「あそぶ」ことを保育の中心におきます。 (3) 意思をもった一人の人格として子どもを尊重します。 保育目標 こころもからだもけんこうな子
--

④施設・事業所の特徴的な取組

(1) 自然環境に恵まれた広い園庭で自然物にかかわったり、身体をのびのびと動かしたりして遊びます。 (2) 仲間と共にさまざまな経験を通して、達成感や充実感を味わいながら自信を持って行動できるように保育を進めていきます。 (3) 食育活動を通して生きる力を育てていきます。 (4) 異年齢児とのかかわりの中で、やさしさや思いやりの気持ちを育みます。 (5) 地域の人や近隣の保育園、小学校など、様々な人との交流を通して、社会性を養っていきます。 (6) 保護者との連携を大切にして、子どもへの愛情や成長を喜ぶ気持ちを共感し合いながら子育て支援をしています。 (7) 子ども一人ひとりのあるがままを受け入れ、発達に即した援助をする中で、その子の持つ可能性を大切に育てていきます。
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年4月1日（契約日） ～ 2023年10月10日（評価結果確定日）
--------	--

受審回数（前回の受審時期）	1 回（2017年度）
---------------	-------------

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆自然豊かな環境のもと、子どもたちの主体性を大切にした保育を展開しています
園の保育理念の実現を目指した保育を行っています。園庭は自然が豊富で、シンボルツリーである大きな榎の木があり、秋にはどんぐり拾いが楽しめるほか、園内の畑やプランターで様々な野菜・果物を栽培し、食育活動に活かす取組も行われています。子どもたちは広い園庭で十分に体を動かしたり、植物や虫に興味を持ったりと各々が自由に遊ぶ姿が見られました。年齢の大きなクラスは、子どもたちと保育士が輪になって、日常で起こったことや行事のことを話し合う「サークルタイム」活動を取り入れています。サークルタイムから子どもたちの「やりたい」という思いや、子どもたちの話す力、聞く力を引き出しています。このサークルタイムで子どもたちから出た「ダンス」「パレード」などの言葉が、年長児の主体的な遊びや素材を使った友だちとの協働的な制作へと広がっています。

◆保育の質向上を目的に園内研修の充実を図っています
職員が主体的に取り組む園内研修として、職員が4つのグループに分かれ、2022年度は年間を通じて「室内環境」「園庭環境」「乳児保育」「栽培活動」について、それぞれ取り組みました。2023年度は、「室内環境」「園庭環境」について、前年度の課題等を掘り下げて取り組んでいます。職員間で話し合いを重ねながら園庭の安全面で様々な改善を行ったり、室内の保育環境を見直したり、子どもへの関わり方を見直すなど、この取り組みが保育の質の充実・向上へつながっています。また、保育の中で配慮すべきことは何かという事故防止に関する「共通認識」も、このような話し合いによって園独自のものが作成され、共有されています。

◆共通理解・共通認識を深めるための振り返り、コミュニケーションがしっかり図られています
日々の保育実践について、共通理解を深め、共通認識を得るために、話し合いによる振り返りを大切にし、次の活動につなげています。職員からは「周りの職員と話し合うことで、より保育が楽しめるものとなっている。」「意見を出しあい、話し合える。」という声もありました。保育中も「ちょっとここ離れるから見ていて。」と周りの保育士に自然に声が出ていて、お互いを尊重しあい、コミュニケーションがしっかり取れていることが伺えました。

◆バランスの良い職員構成の構築と職員のキャリア形成に向けての取組に期待します
保育人材の確保と育成については、事業計画にも謳われており、計画的な採用と人材育成によりバランスの良い職員構成の構築を目指しています。今後とも園としての採用計画を実現していくこと、また若手職員のキャリア形成に向けての人材育成への取組に期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審にあたり、全職員がグループ別に話し合いの時間を設けることは大変でしたが、保育内容や園運営などについて確認や共有をしたり、気づきを挙げたりすることができました。また、この3年間コロナ禍で運営的な難しさを抱えながらも、保育理念をもとに様々な工夫をしながら職員一丸となって保育実践を積み重ねてきました。そのことについて保護者アンケートや評価機関の方から認めていただいたことは、大きな励みになりました。反面、行事の縮小や地域交流が実施できなかったこ

となどは、自己評価で今後の取り組みを視野に入れつつ『b』をつけた項目も多くありました。評価機関の方にはそのような状況や今後の見通しも説明させていただきました。これから取り組むべき課題などが明確になったので、アドバイスを参考にしながら改善に向けて迅速に着手することで、より良い保育や園運営に繋がっていくと思っています。

以上のことから第三者評価を受審したことはとても有意義だったと感じております。これからも、職員で力を合わせて更なる保育の質の向上を図り、保護者や地域に信頼される保育園づくりに努めていきたいと思っております。最後に、ご多忙の中アンケートにご協力いただいた保護者の皆様、ご尽力いただきました評価機関の方に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり